

オジサン車の代表格は世界中で引っ張りだこ！

今のご時世でファミリーカーと言えば『セレナ』や『ヴォクシー』等のミニバンや『ワゴンR』や『フィット』等の軽四やコンパクトカー、はたまた『プリウス』の様なハイブリッドカーを思い浮かべるかもしれませんが、私が免許を取った27年ほど前（年取ったはずである・・・）くらいではファミリーカーの代表と言えば『カローラ』だったのである。

当時はバブル経済が弾ける手前で高額なシーマヤクラウン、マークIIやローレル、シルビアやスカイライン等も売れに売れていたが、セダンタイプの代表者と言えばやはり『カローラ』なのでした。

当時から購入者の平均年齢が高く、我々の世代以降では流石に買うユーザーもいなくなり、販売台数を伸ばすためにカローラワゴン（後のカローラフィールダー）を出したり、キムタクをCMに使ったりで日本ではあまり売れているイメージが有りませんが、実は世界で一番売れ

ている車は今でも『カローラ』なのである。

日本であんまり売れていないカムリ・カローラ・アコード・シビック・ティアナ（アメリカではアルティマ）等がアメリカでは今でも多く売れており、世界的にもトランク付きのセダンはまだまだ人気なのです。実際、ただ単に乗るだけの道具として考えれば『これで充分』と思えちゃいます。

そんなカローラさんの中古車は世界中で引っ張りだこであり、どんなに多走行で古くてもロボロでマニュアルミッションでもとにかく売れます。当社が取引しているパキスタンバイヤーも、とにかく『カローラLOVE』である。第三国ではまず第一に『壊れない』というのが大原則で日本車が選ばれるのですが、カローラは世界中で売れているので中古パーツが特に豊富なんだそうです。そうロボロのカローラはバラバラにしてパーツ取りするので。なので、家や会社で古いカローラを使っていて買い替えの際に決して廃車で下取りに出さないで、必ず電話くださいね！『世界のカローラですから！』



査定依頼フリーダイヤル

0120-14-2236

イーヨ ブーブーミロ